

弘前大学学報



弘前市銅屋町

第 19 号
平成17年10月号

学内ニュース

○弘前大学大学院医学系研究科保健学専攻設置記念式典 式辞 弘前大学長 遠藤正彦	----	1
○第5回弘前大学総合文化祭 ～テーマは『WA!!』～	-----	3
○鱒ヶ沢町と地域連携事業に関する協定を締結	-----	7
○弘前大学大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）設置記念式典を挙	----	8
○テネシー大学マーチン校（UTM）Leslie M.LaChance 博士が来学	-----	9
○哈爾濱師範大学の張永正博士が来学	-----	10
○防減災に関する説明会を実施	-----	11
○平成17年度弘前大学医学部解剖体慰霊祭挙	-----	12
○理工学部技術職員による「技術報告会」を	-----	13
○弘前大学（走友会）チームが健闘及ばず12位	-----	14
－第13回文部科学省関係機関等教職員駅伝競走大会－		

学 事

○学内紀要	-----	15
○外国出張	-----	15

諸 会 議

-----	18
-------	----

人 事

○新任部局長等紹介	-----	21
○新任教授紹介	-----	21
○人事異動	-----	21

主要日誌

-----	24
-------	----

学内規則

○国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程の一部改正	---	25
-----------------------------------	-----	----

訃 報

-----	25
-------	----

式 辞

弘前大学長 遠 藤 正 彦



本日、ここに弘前大学大学院医学系研究科保健学専攻設置記念式典の開催に当たり、青森県知事 ^{みむらしんご}三村 伸吾 殿、弘前市長 ^{かなざわかし}金澤 隆 殿、青森県立保健大学長 ^{しんどうさちえ}新藤 幸恵 殿を始め、多数の方々の御臨席を賜り、誠にありがとうございました。衷心より厚く御礼を申し上げます。

設置者として、この大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）の設置の経緯について御報告し、御挨拶といたします。

この大学院医学系研究科保健学専攻設置の母体は、弘前大学医学部保健学科であります。その保健学科自体は、平成3年の大学設置基準の大綱化に端を発した弘前大学内の学部改組によるもので、かねてより4年制大学化をめざしていた弘前大学医療技術短期大学部と、全国的にもユニークな存在であった教育学部特別教科(看護)教員養成課程とが統合することによって、平成12年10月、医学部内に保健学科として設置されたものであります。

新しく設置された保健学科は、看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、及び作業療法学の5専攻から成り、学生の入学定員200名、第3年次編入学定員30名、収容定員860名という、全国の医療系大学・学部の中で最大規模を誇るものでした。

この保健学科も学年進行によって順調に拡大・充実して、平成17年3月に第1回生としての卒業生を社会に送り出す見込みがたちましたので、平成15年より本格的に大学院修士課程設置の準備に取りかかり、本年4月1日付けの大学院医学系研究科保健学専攻(修士課程)としての設置が文部科学大臣より認可されたものであります。そして、4月1日付、入学定員25名に対し30名の学生の入学を認め、順調に船出したところであります。この保健学専攻の概要につきましては、後に保健学専攻 ^{つしまひとし}對馬 均 専攻長より、御説明いたすことになっております。

さて、この大学院保健学専攻の設置には、様々な困難な問題がありましたが、関係者の努力と多くの方々の御支援・御援助により設置にこぎつけたもので、まず御関係の皆様には厚く御礼を申し上げます。この大学院保健学専攻設置の困難な諸問題について以下申し述べます。

まず第1の問題は、国立大学が一斉に国立大学法人化され、大学院設置についての考え方、手続き、学内での取り扱い、そして大学院を取り巻く環境等が、大きく変わってきたことでもあります。この点に関しましては、文部科学省の御指導と御理解の元に設置認可を受けることができました。御指導をいただきました文部科学省に厚く御礼を申し上げます。

第2の問題として、この大学院保健学専攻の設置理念及び目的の問題であります。我が国の看護師を始めとした理学療法士、作業療法士等、コ・メディカルの医療従事者の不足と、この領域の専門性の細分化と先鋭化から、医療従事者の高等教育を目的とした医療系4年制大学の必要性が高まり、全国的に次々と設置されてまいりました。しかし、それが10年も経たないうちに、全国的には数値の上からその充足率は高まる一方、医師と同様に大都市集中と地方の過疎化が進行してきました。本県で

も医療全般の過疎化が進み、県内での医療従事者の需要は必ずしも高くはなりませんでした。

一方、当時県内には、本学の保健学科より先行し、充実度を高めている青森県立保健大学が大学院博士後期課程の設置に向けて着々とその準備を進めておられ、更には新たな医療系学部設置を目指す複数の大学も存在しておりました。したがって、本学大学院保健学専攻の設置は、一つに中規模総合大学の中で、医学、理工学、分子生物学等、他の専門領域と連携した高度専門の教育



・研究の展開と、それにのっとった専門職業人及び教育・研究者の育成、そして、二つには、青森県立保健大学を始めとする県内医療系高等教育機関との役割分担と協調、そして、地元青森県の地域医療への高度専門性の立場からの貢献ということを基本として、本学の特徴を出すこととしました。

第3の問題は、医療系大学院設置に関して重要な要件の一つであるところの、大学院の教育・研究にたずさわる有資格教員の件であります。これは、全国的に多数の医療系大学の設置に伴い、医療系の専門教員が不足しており、本学もご多分に漏れず、特に看護系教員が不足しておりました。しかし、本学では保健学科教員自らが資格取得に努め、また学外からの積極的な人材確保に努めた結果、設置要件を満たすに至りました。保健学専攻の設置に向けた保健学科教員の気迫と努力、そして医学科の協力を心からの敬意を表します。

以上のような諸問題を御関係の皆様のご支援により解決して、大学院医学系研究科保健学専攻(修士課程)が発足しました。このことにより、本学の前身が、昭和24年新制大学として発足して以来の、全学部全学科に直結した大学院の設置という悲願は、実に56年を経て達成したことになりました。

今後の大学院保健学専攻の課題としては、以下のような点があげられます。

第1に、保健学専攻(修士課程)の次なる目標は、博士課程の設置であり、それはもう1年半後にせまられることとなります。これから医学系研究科全体の問題として設置に向けて準備が進められることとなります。

第2に、青森県は生活習慣病や乳児死亡等の疾病上の問題、医師不足あるいは自治体病院再編統合等医療体制上の問題など、様々な医療に関わる問題を抱えております。これに保健学専攻が社会貢献として如何に積極的に関わっていくかという課題があります。

発足したばかりの本学大学院保健学専攻は、これから様々な問題を克服しながら、学内はもとより、学外からも人材養成と研究成果が認められるようにならなければなりません。そのためには、大学院保健学専攻と医学部保健学科が一体となり、また、大学院医科学専攻及び医学部医学科との連携を一層強めてゆく必要があります。本学の大学院保健学専攻関係者は、社会の要請と期待に応えて、本専攻の発展に努めてまいりますことをここにお誓い致します。

本日御臨席の皆様始め御関係の皆様には、この大学院保健学専攻に、一層の御指導と御支援をお願い申し上げます。最後に大学院保健学専攻の設置記念式典に当たり、御臨席の皆様を重ねてお礼を申し上げて、式辞と致します。

平成17年10月7日

第5回弘前大学総合文化祭

～ テーマは『WA!!』 ～

第5回弘前大学総合文化祭が10月28日（金）から30日（日）の3日間にわたり、文京町キャンパスで開催されました。

今年のテーマ『WA!!』は、学生、教職員、地域の皆様がみんなで楽しめる祭り、参加者全員でひとつの「輪」をつくり、「和」気あいあいと「話」をして、心から「笑」って元気になれる祭りを表します。学生主体の「第56回弘大祭」と学部・教職員の「第5回学術文化祭」が一体となり弘前大学挙げての開催となりました。

オープニングフェスティバルでは、集まった大勢の観客を前に総合文化祭推進委員会委員長の遠藤学長が声高らかに開催宣言をし華々しくスタートしました。

期間中は、昨年同様、学生主体の模擬店や先端の学術研究を紹介する「知の創造」プログラム、地域の方々も参加できる「サインエンスへの招待、楽しい科学」、よさこいソーラン踊りによる「よさこい弘大」など多彩な催しが開かれ、新たに鱒ヶ沢町との産学官連携による「鱒ヶ沢町物産フェア」、ジャーナリストの宮崎 緑氏を迎えての「エネルギーシンポジウム in 弘前大学」、弘前市出身の世界的アーティスト奈良美智氏による「奈良美智レクチャー@弘大祭『AtoZ』」には多くの地域の皆様が訪れ大盛況でした。

また、昨年に引き続き弘前大学後援会からの助成によるキャンパス内・外を彩る「幟」、「提灯」も掲げられ、お祭りムードを盛り上げていました。2日目はあいにくの雨模様でしたが、昨年同様大勢の地域の皆様がキャンパスを訪れ、ファイナルフェスティバルでの花火の打ち上げで無事終了しました。学生、教職員、地域住民が一体となった本学の更なる飛躍が感じられる3日間となりました。

主な催しは次のとおり

【全学イベント】

Opening Festival, よさこい弘大, 駅伝大会, 職員芸術・造形作品展,
エネルギーシンポジウム in 弘前大学, 花火, Final Festival

* 駅伝大会は雨天により中止

【学術文化祭イベント】

○知の創造

- ・文化財論講座レクチャーシリーズ第7回「おさけ」（人文学部）
- ・舞踊と音楽：思考する身体の可能性（教育学部）
- ・市民講座：ガンになったらどうする，ガンにならないためにどうする（医学部）
- ・「がん」の診断と治療・最前線！（医学部保健学科）
- ・公開講座「農業未利用資源の有効活用について－青森県のバイオマサー」（農学生命科学部）
- ・情報セキュリティー最前線（総合情報処理センター）

○討論会・シンポジウム

- ・大学生と語ろう!!「おもしろ生物ゼミナール」, 体験型実験および研究室紹介パネル展示, パネル・標本・野菜の展示と生物の観察, パネルとパソコンによる学科活動の紹介（農学生命科学部）
- ・懇談会「就職への道」（生涯学習教育研究センター）

○展示・体験学習・見学等

- ・地域生活専攻の紹介，環境と市民，物理で遊ぼう，なるほど！ザ スポーツ（教育学部）
- ・救える命を救うために，救急医療と災害医療（医学部医学科）
- ・これが保健学科だ!!（医学部保健学科）
- ・人工筋肉の医学への応用，院内感染について（附属病院）
- ・エネルギー広場，サイエンスへの招待，楽しい科学（理工学部）
- ・鱒ヶ沢町物産フェア（農学生命科学部）
- ・図書館ツアー（附属図書館）
- ・遺伝子実験施設一般参観デー（遺伝子実験施設）
- ・世界のライブカメラ（総合情報処理センター）
- ・地元企業との研究成果展示会（地域共同研究センター）
- ・インターナショナル・フェスタ（留学生センター）
- ・健康チェック（保健管理センター）
- ・自分は何になる？適職診断テストとなりたい職業になる方法（学生就職支援センター）
- ・H-1 グランプリ，Peace Now！報告会，チャリティフリーマーケット（弘前大学生生活協同組合）

【第56回弘大祭】

○オフィシャルイベント

模擬店の出店，着ぐるみ運用及びガス入り風船配付，サークル活動の発表，三朗と巡るスタンブラリーの旅，ソフトボール大会，献血車の招致，ミニゲーム広場，お笑い大会～一般 people VS WPS，アコースティックライブ，看板娘コンテスト～ロマンス WA 再び～，うなれ豪腕!!アーム王は誰だ!?, ○×クイズ，かえうた大会，変身プロジェクト☆ 2005 ☆，グループ対抗ミニイベント大会，大抽選会

*看板娘コンテストは雨天のため中止

○学部祭

人文祭	サークル活動の発表，模擬店の出店
教育祭	研究発表，青い森の音楽会，一日幼稚園，移動紙しばい，模擬保健室，正一食堂，模擬店，遊びの TUBO，縁日，社会科教育ゼミ，シュタイナーの世界，心理科占い，THE ☆キッズカーニバル，燃飯，スポーツフェスティバル 2005，バスペインティング
医学祭	模擬店，医学展，喫茶，写真展，国医研の発表・展示，漢方医学研究会展，コンサート
理工祭	ロボットに触ってみよう，天文同好会 COSUMO
収穫祭	農産物の販売，クラシックギター演奏会



Opening Festival でのテーマ除幕式（右. 遠藤学長）



賑わうメインストリート



「エネルギーシンポジウム in 弘前大学」 宮崎緑氏の基調講演



奈良美智レクチャー@弘大祭『AtoZ』



よさこい弘大「津軽もつけんど蒼天飛龍」の舞



釜ヶ沢町物産フェア



職員芸術・造形作品展



文化財論講座レクチャーシリーズ 第7回「おさけ」(人文学部)



模擬保健室（教育学部）



医学祭



サイエンスへの招待，楽しい科学（理工学部）



収穫祭（農学生命科学部）



着ぐるみ&風船



Final Festivalでの鏡割り（右. 遠藤学長）

鱒ヶ沢町と地域連携事業に関する協定を締結

本学では、鱒ヶ沢町と包括的な連携のもとに産業振興、文化の育成・発展、まちづくり、人材育成、学術など多方面での協力をするため、10月6日に鱒ヶ沢町役場にて協定を締結しました。

調印にあたり、遠藤学長から「法人化後大学をあげて取り組んできた鱒ヶ沢町との地域連携事業も軌道に乗り実現されていること、学術的なシーズの蓄積と地域社会への貢献で地域に密着した大学づくりを進め、地域との連携をさらに推進していきたい」、長谷川町長から、「弘前大学とより強固な関係を築き、学官連携事業のモデル地区となるよう町の自然活用と地域資源の掘り起こしをしたい」とそれぞれ挨拶がありました。

今後、同地域連携事業では、西海岸衛生処理組合で発生している汚泥を有機肥料として活用する共同研究等が実施されます。



協定書にサインする遠藤学長（左）と長谷川町長



固く握手を交わす遠藤学長（左）と長谷川町長

弘前大学大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程） 設置記念式典を挙

本年4月、医学系研究科保健学専攻修士課程(定員25人)が設置されたことを記念して、記念式典及び祝賀会が医学部保健学科等において開催されました。

記念式典は、10月7日(金)11時から、保健学科第24講義室において青森県立保健大学長ほか来賓、関係者多数が出席して行われました。

保健学専攻は、保健学の領域における教育と研究を通して、専門領域に関する知的財産を創造・蓄積するとともに、実践の場でリーダーシップを発揮できるコ・メディカルスタッフ並びに高度な専門知識を備えた教育・研究者を育成することを目的として、「看護学領域」「生体情報科学領域」「生体機能科学領域」「総合リハビリテーション科学領域」の4領域で構成され、この4月に30人(うち、社会人22人)の院生が入学しました。

式典では、遠藤学長の式辞の後、青森県知事(中山医師確保対策監代読)、弘前市長(白取企画部長代読)、新道幸恵青森県立保健大学長から祝辞が述べられ、続いて、文部科学省高等教育局長等からの祝電が披露されました。最後に、対馬保健学専攻長から保健学専攻の概要説明があり式典を終了しました。

また、設置記念祝賀会は正午から、会場を医学部コミュニケーションセンターに移して、来賓、関係者多数が出席して行われました。

祝賀会では、兼子医学系研究科長の挨拶、対馬保健学専攻長の乾杯の音頭の後、平成13年度から博士課程学生を受入れている三木神戸大学医学部保健学科長をはじめ 山谷青森県看護協会副会長、工藤青森県放射線技師会副会長、後藤青森県理学療法士会事務局長、原青森県作業療法士会理事から、今後の大学院発展への期待が込められたスピーチなどがあり、親しく歓談の続く中、盛会裡に祝賀会を終えました。

なお、記念式典に先立って、10月4日(火)13時30分から、大学院医学系研究科保健学専攻の看板上掲式が遠藤学長、兼子医学系研究科長及び対馬保健学専攻長、関係者多数が出席して行われました。



式典での遠藤学長の式辞



式典での新道青森県立保健大学長の祝辞



祝賀会での兼子医学部長挨拶



祝賀会での対馬保健学科長の乾杯の音頭

テネシー大学マーチン校 (UTM) Leslie M. LaChance 博士が来学

本学の姉妹校であるテネシー大学マーチン校 (UTM) から、Leslie M. LaChance 博士 (人文・芸術学部助教授) が、大学間交流協定に基づく 19 人目の招へい研究者として、10 月 17 日から 11 日間の日程で来学されました。

本学と UTM とは、大学間交流協定に基づき、昭和 55 年から多くの学術分野で相互交流を続けており、今回の Leslie M. LaChance 博士の来学は、人文学部の受入れによるものです。

同博士は、10 月 20 日 (木)、遠藤学長を表敬訪問され、翌 21 日には、「北米インディアンの文学と創作活動」と題して総合教育棟・304 講義室において全学学術講演会を実施しました。この講演会では、会場がほぼ満席になるほどの教職員、学生が詰めかけ、和やかな雰囲気の中で熱心に講演を拝聴するとともに、講演終了後も、同博士と多数の学生による活発な意見交換が行われました。

同博士は、本学滞在中、受入れ部局の人文学部教員・学生との研究情報交換並びに指導・助言等、寸暇を惜しんで積極的に交流を深められました。

また、日程の合間には、秋のやわらかな日射しに包まれた城下町弘前とその近郊、特に岩木山麓に広がる日本一のりんご園の風景等を楽しまれるとともに、世界自然遺産となっている白神山地を視察するなど本州最北端の津軽の自然、文化を満喫し、山に囲まれた日本への旅の印象を深められたようでした。



遠藤学長を表敬訪問された Leslie M. LaChance 博士



全学学術講演会

哈爾濱師範大学の張永正博士が来学

本学の姉妹校である哈爾濱師範大学から、張永正博士（数学・コンピュータ学院教授）が、大学間交流協定に基づく4人目の招へい研究者として、10月10日から12日間の日程で来学されました。

本学と哈爾濱師範大学とは、平成7年に本学としてアジア最初の大学間交流協定を締結し、協定に基づいて広い分野で様々な学術交流を続けており、今回の来学は、理工学部の受入れによるものです。

同博士は、10月12日（水）、遠藤学長を表敬訪問されるとともに、翌13日（木）には、「中国大学教育の紹介」と題して理工学部1号館・第1講義室において全学学術講演会を実施しました。この講演会では、目覚ましい発展を遂げている中国の高等教育の現状について興味深い講演が展開され、質疑応答の際には熱心な意見交換が行われました。

同博士は、本学滞在中、受入れ部局の理工学部教員・学生との研究情報交換並びに指導・助言等、寸暇を惜しんで積極的に交流を深められました。

また、日程の合間には、風土的にも哈爾濱に近い東北の自然、文化に触れ、紅葉前線が南下する日本の秋の旅を楽しまれました。



遠藤学長を表敬訪問された張永正博士



全学学術講演会

防減災に関する説明会を実施

8月26日、文京町キャンパスを会場に行われた弘前市総合防災訓練の際の、本学の災害対策本部及び各学部の災害対策室の設置に係るシミュレーションに引き続き、10月25日に本学における「防減災」に関する意識を更に高めてもらうために、各部局長及び事務（部）長を対象とした「防減災に関する説明会」を開催しました。

説明会では、学長の下に設置している危機管理専門家会議の佐藤和之委員長から、新潟県中越地震の際の被災状況や災害時の情報を的確に伝える減災の在り方について説明するとともに、部局長の防減災に対する関心を高めてほしいと要請しました。

また、当日は、本学人文学部社会言語学研究室で作成した「やさしい日本語」を使った「減災マニュアル」を配付し、各部局及び附属学校園に備え付けることにしました。



減災の在り方について説明する佐藤委員長



説明に聞き入る各部局長、事務（部）長

平成17年度弘前大学医学部解剖体慰霊祭挙行

医学部の解剖体慰霊祭が10月20日（木）午後1時30分から、弘前文化センターにおいて執り行われました。

最初に、弘前大学医学部管弦楽団と創立50周年を記念して結成されたアンサンブルによる音楽演奏があり、医学部、同附属病院主催の下に、御遺族はじめ御来賓、白菊会、学生及び教職員など関係者約400名が出席し、系統解剖、病理解剖そして法医解剖のために御尊体を委ねていただきました184名の方々の御冥福をお祈りいたしました。

参会者全員が黙祷を捧げた後、解剖体御芳名奉読があり、泉井医学部副医学科長が「医学の教育と研究のために、この上もない尊い御理解と御協力をお示し下さり、御遺体が与えて下さいました数々の教えを心に刻み、そして御遺族のお心の重みを胸に、医学の進歩・発展のために全力を尽くし、病に苦しむ人々への優れた医療と健全なる生命のさらなる充実に向けて、最善の努力をいたすことをお誓い申し上げます」と祭詞を述べました。

また、学生代表として医学科3年三橋達郎さんが、「解剖学実習を経験し、「生」と「死」について考える機会を得、さらに医師となるということの自覚の再確認と責任の重大さを痛感させられました。献体者の皆様の「無条件、無報酬」で「他人のために」という精神を引き継いで、よりよい医療従事者になるためさらに精一杯努力していきます」と弔辞を述べました。

続いて、棟方病院長からお礼の挨拶があり、最後に参会者一人ひとりが祭壇に献花し、式を滞りなく終了しました。



理工学部技術職員による「技術報告会」を開催

理工学部では、技術職員のプレゼンテーション能力などの資質の向上を図り、学内に業務内容とその成果を広く周知することを目的として技術報告会を開催しています。その第3回報告会を10月21日に開催しました。

理工学部には11名の技術職員が所属し、ネットワークシステム管理、機器測定、学生実験、機械加工などの幅広い分野において教員の教育研究活動を技術的な面から支援しています。報告会には教員、事務職員、学生、延べ40余名が参加しました。森 副学部長の挨拶の後、教育用電子計算機システムの導入にあたり管理用ソフトウェアを技術職員が構築することで約200万円の経費節減を可能にした例、光熱費節減のために暖房方式を変更する場合の投資額とその回収期間の考察など、計10件の報告がなされました。

今回の技術報告会では、技術職員の業務について多くの教職員から理解を得られたこと、業務の内容について広く意見を得ることができたことなど、多くの成果が得られました。



技術職員による報告「難切削材部品製作のための加工実験」

弘前大学（走友会）チームが健闘及ばず12位 —第13回文部科学省関係機関等教職員駅伝競走大会—

去る10月29日（土）、ロードレースの部が13時から、駅伝の部が13時30分から皇居周回コース（5km/周）で行われました。

本学チームのこの大会への出場は5年連続となり、時折小雨がぱらつく天候にも関わらず、全国から41チームの参加により激戦が繰り広げられました。今回は、メンバー編成やコンディションの調整がうまく図れない中での苦しいレースとなりました。結果は、健闘及ばず残念ながら入賞（6位）を逸し12位に終わりました。

来年は、再度の入賞を目指し一層頑張りますので、教職員の皆様のより一層のご支援とご協力をよろしくお願いします。

【成績】[駅伝の部] 総監督 佐藤祥英（学術情報部）

1区	石岡博幸（財務部）	18分13秒
2区	工藤慶伸（附属病院）	19分11秒
3区	菊田頼司（総務部）	22分13秒
4区	齋藤秀昭（学務部）	19分46秒
5区	深瀬政秋（理工学部）	20分21秒

1時間39分44秒（41チーム中12位）

（参考）これまでの結果

平成13年（65チーム中36位）	1時間49分20秒
平成14年（68チーム中25位）	1時間46分36秒
平成15年（57チーム中11位）	1時間38分47秒
平成16年（45チーム中5位）	1時間33分02秒

【成績】[ロードレースの部]

備前 剛（財務部） 22分13秒（28人中11位）

※弘前大学走友会も高齢化が進んでおります。若い教職員（男女を問わず）の入会をお待ちしております。

詳細は、学術情報部 佐藤までお願いします。（内線 3901 Eメール jm3901）



学内紀要

教育学部の研究紀要が、次のとおり刊行されました。

- 弘前大学教育学部紀要 第94号（平成17年10月7日発行）
（Bulletin of the Faculty of Education Hirosaki University）

外国出張

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
教授 (教)	猪瀬 武則	価値多元社会における多面的・多角的見方を育成する経済カリキュラム開発に関わる資料収集	アメリカ合衆国	17. 10. 4 ～ 17. 10. 10
教授 (教)	面澤 和子	第79回米国学校保健学会に参加及び調査	アメリカ合衆国	17. 10. 17 ～ 17. 10. 23
教授 (医)	兼子 直	弘前大学医学部と中国医科大学との学術交流	中華人民共和国	17. 10. 23 ～ 17. 10. 28
助手 (医)	朱 剛	弘前大学医学部と中国医科大学との学術交流	中華人民共和国	17. 10. 23 ～ 17. 10. 28
教授 (医)	新川 秀一	第25回ポリツァ学会出席	大韓民国	17. 10. 5 ～ 17. 10. 9
助教授 (医)	欠畑 誠治	第25回ポリツァ学会出席	大韓民国	17. 10. 5 ～ 17. 10. 9
助手 (医)	石井 賢治	第25回ポリツァ学会出席	大韓民国	17. 10. 5 ～ 17. 10. 9

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
助手 (医)	伊東 重豪	13th UNIRED EUROPEAN GASTROENTEROLOGY WEEK 出席	デンマーク王国	17.10.16 ～ 17.10.21
教授 (医)	中根 明夫	2005年国際インターフェロン・サイトカイン学会出席及び上海復旦大学での研究打合せ	中華人民共和国	17.10.20 ～ 17.10.27
講師 (医)	胡 東良	2005年国際インターフェロン・サイトカイン学会出席及び上海復旦大学での研究打合せ	中華人民共和国	17.10.20 ～ 17.10.27
助手 (医)	差波 拓志	2005年国際インターフェロン・サイトカイン学会出席	中華人民共和国	17.10.20 ～ 17.10.25
教授 (医)	藤 哲	第3回世界マイクロサージャリー学会議出席	アルゼンチン共和国	17.10.22 ～ 17.10.28
教授 (医)	宮越 順二	WHO Task Goup meeting 出席	スイス連邦	17.10. 1 ～ 17.10. 9
教授 (医)	宮越 順二	Union Radio-Scientifique Internationale (国際電波科学連合) 第28回国際総会出席及び発表	インド共和国	17.10.23 ～ 17.10.27
講師 (医)	三浦 富智	国際学会「2nd International Conference on Polyphenols and Health」参加	アメリカ合衆国	17.10. 4 ～ 17.10.10
助手 (医)	對馬 栄輝	WCPT-AWP & ACPT Congress 2005 (世界理学療法連盟ーアジア西太平洋地区とアジア理学療法連盟の国際学会) 出席	大韓民国	17.10.30 ～ 17.11. 2
技術補佐員 (医)	小山 眞	Union Radio-Scientifique Internationale (国際電波科学連合) 第28回国際総会出席	インド共和国	17.10.23 ～ 17.10.27
講師 (病)	下山 克	XVIII International Workshop on Gastrointestinal Pathology and Helicobacter 及び 13th United European Gastroenterology Week 出席・発表	デンマーク王国	17.10.12 ～ 17.10.20

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
助手 (病)	福井 淳史	生殖免疫の研究	アメリカ合衆国	17. 10. 3 ～ 18. 3. 31
助手 (病)	長畑 守雄	第8回世界インターベンション神経放射線 会議出席	イタリア共和国	17. 10. 17 ～ 17. 10. 23
教授 (理工)	中島 健介	台湾日本合同超伝導エレクトロニクスシン ポジウムに参加	台湾	17. 10. 5 ～ 17. 10. 10
教授 (理工)	古屋 泰文	先進的磁気センサーとその計測システムに 関する調査研究	ドイツ連邦共和国 フランス共和国	17. 10. 9 ～ 17. 10. 18
教授 (理工)	森 聡明	日本学術振興会「グリーン化学プロセスを 指向した触媒材料に関する基盤研究」に係 わる研究打合せ	大韓民国	17. 10. 12 ～ 17. 10. 16
教授 (理工)	深瀬 政秋	IEEE Sections Congress 2005 に参加	アメリカ合衆国	17. 10. 13 ～ 17. 10. 20
助教授 (理工)	小松 尚夫	Integers Conference 2005 に参加	アメリカ合衆国	17. 10. 26 ～ 17. 11. 2

■ 諸 会 議

▼役員会

10月4日（火）

審議事項

- 1 平成18年度入試関係要項の教育研究評議会への付議について
 - 1) 平成18年度学生募集要項（一般選抜）（案）
 - 2) 平成18年度私費外国人留学生学生募集要項（案）
- 2 平成19年度入学者選抜方法の改善について
- 3 弘前大学情報セキュリティー委員会規程（案）について
- 4 「大学マネジメントセミナー1」について
- 5 その他

報告事項

- 1 人事院勧告等について
- 2 その他

10月17日（月）

審議事項

- 1 平成18年度入試関係要項の承認について
 - 1) 平成18年度学生募集要項（一般選抜）（案）
 - 2) 平成18年度私費外国人留学生学生募集要項（案）
- 2 入学式・卒業式の実施方法について
- 3 「平成17年度マネジメントセミナーⅡ」について
- 4 その他

報告事項

- 1 国立大学協会東北地区支部会議について
- 2 放送大学青森学習センター所長候補者の推薦について
- 3 その他

10月24日（月）

審議事項

- 1 平成18年度年度計画の作成について
- 2 国立大学法人弘前大学職員の育児休業等に関する規程の一部改正について
- 3 国立大学法人弘前大学職員の介護休業等に関する規程の一部改正について
- 4 その他

10月31日（月）

審議事項

- 1 「弘前大学学則の一部改正」の教育研究評議会への付議について
- 2 「弘前大学大学院学則の一部改正」の教育研究評議会への付議について
- 3 国立大学法人弘前大学余裕金運用規程の制定について
- 4 交流型教育事業「シニアサマーカレッジ」について
- 5 TOEICの試験会場について
- 6 その他

報告事項

- 1 弘前大学テレビ共同受信施設利用者に対する説明会について
- 2 入学志願者の第2志望について
- 3 総合文化祭の終了について
- 4 その他

▼教育研究評議会

10月11日（火）

審議事項

- 1 弘前大学保健管理センター教員選考委員会に関する申合せ（案）について
- 2 平成18年度入試関係要項について
 - 1) 平成18年度学生募集要項（一般選抜）（案）
 - 2) 平成18年度私費外国人留学生募集要項（案）
- 3 入学式及び卒業式の実施方法について
- 4 その他

報告事項

- 1 教員人事について
 - (1) 教員の採用
- 2 学長指定重点研究について
- 3 附属図書館の運営について
- 4 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育・学生委員会
 - (3) 研究・施設マネジメント委員会
 - (4) 社会連携委員会
 - (5) 入学試験委員会
- 5 その他

▼教育・学生委員会

10月26日（水）

議 題

- 1 企業等実習（インターンシップ）実施要項（案）について
- 2 学則及び大学院学則の一部改正（案）について
- 3 平成17年度後期「学生による授業評価アンケート」の実施等について
- 4 市道文京町線の安全・利便性について
- 5 平成17年度体育施設運営担当教員について
- 6 その他
 - (1) 成績評価の評語について
 - (2) 学習・成績に対する学生の苦情処理システムについて
 - (3) 文部科学省公募事業「国公立大学を通じた大学教育改革の支援の充実」に係る本学の体制整備について

報告事項

- 1 平成17年度全学FD講演会・シンポジウムについて
- 2 平成17年度東北地区国立大学法人学生課長会議報告
- 3 学生ホールの作品展示について
- 4 総合文化祭に関する弘前大学周辺町内会長との懇談会について

5 弘前大学同窓会「吉田賞」について

6 その他

(1) 第26回全国国立大学学生指導担当副学長協議会報告

(2) 第43回全国学生指導研究集会報告

▼研究・施設マネジメント委員会

10月5日（水）

報告事項

1 平成17年度学長指定重点研究の審査結果について

2 平成17年度弘前大学科学研究費補助金説明会について

3 その他

▼21世紀教育センター運営委員会

10月20日（木）

報告事項

1 センター長報告

審議事項

1 専門委員会委員選出について

2 21世紀教育センター編集委員会委員選出について

3 総合情報処理センター運営委員選出について

4 平成17年度非常勤講師による授業計画の変更について

5 平成17年度後期開講計画の変更について

6 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について

7 成績評価の取扱いについて

8 その他

新任部局長等紹介



農学生命科学部長

効^{ハシ}高橋^{ヒロ}秀^ヒ直^ナ

高橋農学生命科学部教授が、平成17年10月1日付けで、農学生命科学部長に発令されました。

新任教授紹介



教育学部

コ^{ダマ}小玉^{マサ}正^シ志^シ (専攻:解剖学)

小玉教育学部助教授が、平成17年10月1日付けで、同学部教授に発令されました。

人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 10. 1		櫻田 正	整備計画課長(施設)
17. 10. 1		野崎 勝利	課長補佐(施・環)
17. 10. 1		杳澤 麻依	事務職員(教育)
17. 10. 1		氏家 夏樹	技術職員(理工)
17. 10. 1		柴田 英樹	助教授(人文)
17. 10. 1		富永 真己	助教授(医・保)
17. 10. 1		阿部 由紀子	助手(医・保)
17. 10. 1		萩沢 茂	助手(医学)[22. 9. 30まで]
17. 10. 1		石川 太	助手(医学)[22. 9. 30まで]
17. 10. 1		蒔苗 公利	助手(医学)[22. 9. 30まで]
17. 10. 1		吉村 徹郎	助手(病院)[22. 9. 30まで]
17. 10. 1		照井 君典	助手(病院)[22. 9. 30まで]
17. 10. 1		長谷川 傑	助手(病院)[22. 9. 30まで]
17. 10. 1		石岡 朋子	看護師(病院)[18. 3. 31まで]
17. 10. 12		畑中 聡子	看護師(病院)[18. 3. 31まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 10. 1	教務グループ主任(学・教)	森 田 直 文	教務グループ係長(学・教)
17. 10. 1	社会連携グループ主任(術・社)	山 田 修 平	社会連携グループ係長(術・社)
17. 10. 1	医療サービスグループ主任(病・事)	奈 良 昌 晃	医療サービスグループ係長(病・事)
17. 10. 1	事務職員(農生)	福 士 智 久	契約管理グループ主任(財・契)
17. 10. 1	助教授(教育)	小 玉 正 志	教授(教育)
17. 10. 1	講師(教育)	平 田 淳	助教授(教育)
17. 10. 1	助手(病院)	川 崎 仁 司	講師(医学)[24. 9. 30まで]
17. 10. 1	助手(医・保)	平 川 裕 一	講師(医・保)
17. 10. 1	助手(医・保)	小 倉 能 理 子	講師(医・保)
17. 10. 1	講師(病院)	石 黒 陽	助教授(病院)[24. 9. 30まで]
17. 10. 1	助手(病院)	下 山 克	講師(病院)[24. 9. 30まで]

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 10. 1	整備計画課長(施設)	柴 田 大	施設企画課長(施設)
17. 10. 1	契約管理グループ係長(財・契)	浅 利 清 一	総務情報グループ係長(財・財)
17. 10. 1	医療サービスグループ係長(病・事)	對 馬 浩 徳	決算グループ係長(財・経)
17. 10. 1	学生生活支援グループ係長(学・生)	小 田 桐 俊 治	教務グループ係長(学・教)
17. 10. 1	管理グループ係長(病・管)	長 谷 川 直 生	就職支援グループ係長(学・生)
17. 10. 1	就職支援グループ係長(学・生)	藤 江 浩 美	施設事務グループ係長(施・企)
17. 10. 1	経理グループ係長(財・経)	對 馬 孝 行	管理グループ係長(病・管)
17. 10. 1	決算グループ係長(財・経)	小 山 内 英 子	医療サービスグループ係長(病・事)
17. 10. 1	総務グループ主任(理工)	葛 西 薫	経理グループ主任(財・経)
17. 10. 1	総務情報グループ主任(財・財)	長 谷 川 公 栄	総務グループ主任(農生)
17. 10. 1	事務職員(農生)	小 野 寺 恵	事務職員(財・財)
17. 10. 1	事務職員(教育)	木 村 智	事務職員(病・事)
17. 10. 1	事務職員(財・経)	工 藤 理 砂 子	事務職員(農生)
17. 10. 1	助手(医学)	小 山 基	助手(病院)[22. 9. 30まで]

[併任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 10. 1	教授(医学)	阿 部 由 直	アイトープ総合実験室長[19. 9. 30まで]
17. 10. 1	助教授(病院)	石 黒 陽	医学部附属病院光学医療診療部副部長
17. 10. 1	教授(理工)	田 中 和 夫	理工学部附属地震火山観測所長[18. 3. 31まで]
17. 10. 1	教授(農生)	高 橋 秀 直	農学生命科学部長[19. 9. 30まで]
17. 10. 17	広報・支援グループ係長(総・総)	五 十 嵐 義 之	入試グループ係長(学・入)[18. 3. 31まで]
17. 10. 17	総務情報グループ係長(財・財)	浅 利 清 一	入試グループ係長(学・入)[18. 3. 31まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 10. 12	看護師(病院)	鈴木 沙 織	20. 3. 31まで

[任命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 10. 1	教授(農生)	高 橋 秀 直	教育研究評議会評議員[19. 9. 30まで]
17. 10. 1	整備計画課長(施設)	櫻 田 正	研究・施設マネジメント委員会委員

[復職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 10. 1	事務職員(総・人)	飯 田 有 知 子	育児休業より
17. 10. 1	教務職員(医・保)	工 藤 う み	育児休業より
17. 10. 1	看護師(病院)	長 尾 麻 紀 子	育児休業より
17. 10. 1	技術専門職員(学・教)	三 上 秀 秋	介護休業より

[退職・離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 10. 31	助手(病院)	橋 本 安 弘	退職
17. 10. 31	助手(医学)	松 宮 朋 穂	退職

■ 主要日誌

- 10月 1日 日本教育大学協会研究集会（教育学部）
3日 平成17年10月岩手大学大学院連合農学研究科入学式（SCS）
入学試験委員会
4日 医学系研究科保健学専攻上掲式（保健学科）
平成17年度内部監査（学術情報部・附属図書館）
役員会
5日 学長候補者第2次学内意向選挙
学長候補者選挙管理委員会
6日 平成17年度東北地区国立大学法人課長会議（～7日 岩手大学）
職場体験学習（弘前中央高等学校）
7日 医学系研究科保健学専攻設置記念式典（保健学科）
53工学系学部長会議（神戸大学）
平成17年度内部監査（教育学部）
学長オフィスアワー
人文社会科学研究科合格者発表
教育学研究科合格者発表
8日 白神山地観察会（白神山地）
11日 運営会議
教育研究評議会
12日 第43回全国学生指導研究集会（～14日 福島大学）
13日 22大学理学学部長会議（KKR 東京）
弘前大学学術講演会「中国大学教育の紹介」（理工学部1号館）
青森県議会文教公安委員会の県内調査（教育学部）
14日 国立大学理学学部長会議（KKR 東京）
17日 東北厚生局医療監視（～18日 附属病院）
役員会
18日 平成17年度内部監査（医学部保健学科）
19日 第43回全国大学保健管理研究集会（～20日 山形大学）
20日 第113回全国農学系学部長会議（～21日 新神戸オリエンタルホテル、神戸大学）
平成17年度東北・北海道地区国立大学病院課長会議（山形国際ホテル、山形大学）
日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会（KKR 東京、東京学芸大学）
第80回国立大学医学学部長会議（富山市、富山医科薬科大学）
理工学部特別講演会「美しいハルビン」（理工学部1号館）
解剖体慰霊祭
学長オフィスアワー
21世紀教育科目主任総会
21世紀教育センター運営委員会
21日 平成17年度秋季全国国立大学法人教育系学部長会議（ホテルアンピア松風閣、静岡大学）
弘前大学名誉教授を囲む懇談会
22日 親子体験学習（最終日）（附属生物共生教育研究センター）
24日 役員会
26日 教育・学生委員会
27日 東北地区6大学工学部事務長会議（東北大学）
28日 第186回岩手大学大学院連合農学研究科代議員会（ホテル安比グラウンド、岩手大学）
弘前大学総合文化祭
29日 農学生命科学部公開講座「農業未利用資源の有効活用についてー青森県のバイオマスー」
弘前大学総合文化祭
30日 弘前大学総合文化祭
31日 入試説明会
役員会

■ 学内規則

(平成17年9月26日改正・平成17年10月1日施行)

○ 国立大学法人弘前大学職員の勤務時間、休暇等に関する規程の一部改正

職員の勤務態様の特殊性に鑑み、勤務時間の始業・終業時刻及び休憩時間を変更するため、この規程の一部を改正した。

■ 訃 報

本学名誉教授大内清太氏には、平成17年10月11日
御逝去されました。

享年 90歳

ここに、謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りいた
します。

弘前大学学報第19号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172)36-2111